

会 議 録

会 議 名 称	令和８年度第１回中央区の森事業推進協議会
開催年月日	令和８年７月２２日（水）
開催場所	檜原村役場
出席者	中央区の森事業推進協議会委員 １１名 青柳 恵美子 委員、石橋 利彦 委員、中島 憲一 委員、岸本 裕子 委員、 藤原 啓一 委員、嶋崎 洋樹 委員、野村 隼人 委員、岡部 重久 委員、 大久保 一白 委員、鎌田 智之 委員、水野 敬介 委員 事務局職員 ３名
配布資料	１ 令和８年度 第１回中央区の森事業推進協議会 議事次第 ２ 令和７年度 事業実績について ３ 令和８年度 事業概要について ４ 「中央区の森（南郷地区・矢沢地区）」における搬出間伐及び周年記念行事について ５ 「中央区の森（南郷地区・矢沢地区・本宿地区）」の自然共生サイト認定について
議題	１ 開会 ２ 議事 （１） 令和７年度 事業実績について （２） 令和８年度 事業概要について （３） 「中央区の森（南郷地区・矢沢地区）」における搬出間伐及び周年記念行事について （４） 「中央区の森（南郷地区・矢沢地区・本宿地区）」の自然共生サイト認定について ３ 質疑応答 ４ 閉会
協議の経過	別紙のとおり

令和8年度第1回中央区の森事業推進協議会議事録

令和8年7月22日
11時00分～11時50分
檜原村役場 301 会議室

1 開会

- 鎌田委員より開会の挨拶
- 事務局が、委員の定足数を充たし、本日の協議会が有効に成立していることを報告
- 会長による挨拶と議事の確認

2 議事

- 別添資料に基づき、事務局より議事の説明

3 質疑応答

- 資料1および資料2の檜原村自然体験ツアー（以下、「ツアー」という。）実績に関して、実施業者のウッドボックスはどういった団体なのか、またどのような経緯で選定されたのか。
⇒ツアー実施の検討にあたり、檜原村から紹介を受けた地元事業者のひとつ。ひのはらファクトリーの運営など、檜原村の森林資源を活用した事業を行っており、ツアーの趣旨に沿ったプログラムの企画・運営が可能であることから実施業者として選定している。（事務局）
- 自然共生サイトに認定されたことによるメリットはあるのか。また、森林整備にあたり制約を受けるといったデメリットは存在するのか。
⇒環境省ホームページでの公開やパンフレットでの周知により、「中央区の森」事業の普及啓発や森林保全活動の重要性のアピールにつながることでメリットと考えている。
森林整備にあたり制約を受けるといったデメリットも存在しない。なお、認定を維持するにあたり、定期的なモニタリング報告が必要となるが、モニタリングは当初から計画されているため、負担が増えることはない。（事務局）
- 数馬地区は自然共生サイトに認定されていないが、どういった理由があるのか。
⇒数馬地区は長期的な森林保全整備計画を有していないこと、複数の所有者による私有林であることを踏まえ、現時点では申請を行っていない。（事務局）
- 資料3に記載の搬出間伐計画について、大半が切捨間伐となってしまうが、より多くの材を搬出することはできないのか。
⇒材を最大限搬出するためには、現在の計画が最も適当であると考えている。地形の関係で搬出ルート拡大は難しい。また、搬出できない材についても「中央区の森」内の歩道整備用の材とするなど、有効活用に努めていく。（事務局）
- 資料2について、矢沢地区のシカ柵を撤去すると記載があるが、なぜ撤去するのか。

⇒苗木が十分に成長し、食害に合う可能性がなくなったため、撤去を行う。(事務局)

○ 檜原村に熊が出没した事例があるが、ツアー実施に影響は生じているか。

⇒参加予定者に丁寧な連絡は行いつつも、原則として規模の縮小は想定していない。(事務局)

4 閉会

○ 会長による閉会の挨拶